

すべての労働者の賃上げで景気回復を たくさん仲間を府職労に迎え、要求を前進させよう！

府職労は、1月31日～2月1日、京都市内で春闘・組織討論集会を開催しました。76名が参加し、学習と討論をつうじて春闘を元気にとりくむ意志統一を行いました。

草の根の運動で 安倍暴走政治を ストップさせよう！

1日目は、一橋大学名誉教授の渡辺治さんより「安倍政権の改憲・構造改革のねらいと運動の課題」と題して記念講演が行われました。

ブラック企業の 実態をリアルに告発

大阪経済大学准教授の伊藤大一さんより「ブラック企業の実態とたたかう若者たち」と題して2つ目の記念講演が行われました。

大企業の横暴許さ ない！日本IBM ロックアウト解雇

また集会では、日本IBMロックアウト解雇とたたかう労働者からの訴えもありました。



めにも必ず裁判に勝利したい」と涙ながらに強い決意を語りました。

職場・地域から 全員参加の春闘を とりくもう

2日目は「職場活動の推進」「改憲の動きストップ」憲法を守り発展させよう」「基礎講座―労働組合とは」などをテーマに、6つのグループに分かれて分科会が行われました。



府職労2014 春闘・組織討論集会開催

原告の方は「こんな理不尽なことをまかり通してはならない、子どもたちが社会に出た時にこんなことがあってはならない、そのた

も報告され、活発な議論が行われました。分科会のあとの全体集会では、職場・地域から全員参加の春闘をとりくむことをみんなで確認しました。

橋下「維新」政治ストップ！住民施策の切り捨てを許すな！
今こそ住民共同で自治体本来の府政へ

府職労「府民団体との住民要求懇談会」

とき

2月23日(日)
13:30～16:00

ところ

社会福祉会館
5階 503号室
※地下鉄「谷町6丁目」下車 徒歩5分



【プログラム】

- ◎主催者あいさつ
- ◎府職労からの報告
- ◎大阪府予算案の概要説明
- ◎住民団体からの発言
- ◎質疑・応答
- ◎全体まとめ
- ◎閉会あいさつ

橋下「維新の会」は、「大阪都」をめざし「府市の無駄な二重行政を解消する」「民間ができるものは民間で」など地方自治体の役割を投げ捨て、「公の施設」の廃止、住民の財産である地下鉄の民営化など、住民サービスに大きな影響を与えています。しかし一方で、住民いじめの攻撃に真っ向から対決し、「住吉市民病院を充実させる会」や「中之島図書館の明日を考える会」など、府職労と住民団体との共同した運動が大きく広がっています。引き続き、「府民に役に立つ仕事がしたい」という職場の声を発信し、憲法にもとづく地域住民の幸福追求を目的とする自治体労働者の役割を発揮し、府民に支持と共感を得られる政策要求と運動をすすめるため開催します。

主催 大阪府関係職員労働組合

前回はパワーハラスメントについての具体的な項目をあげましたが、パワーハラスメントは、指導育成や業務命令などに隠れて表面化しにくく、加害者側が無意識に行っている場合も数多くあります。こうしたパワーハラが起きない職場をつくるためにどんな対策が必要なのでしょう。ある組織が行った対策をいくつか紹介します。

ローアンの ススメ¹⁸

ハラスメントのない 職場をめざそう

- ハラスメント防止のための要綱・指針等の作成と職員全体への周知
- 職員全体へパワーハラスメントについての研修の実施
- 上司を介さず、直接人事に提出できるアンケート調査を実施し実態把握(パワーハラを受けた、または見たり聞いたりした等の項目でアンケート)
- 内部、外部での相談窓口の設置等
- 大阪府でも人事委員会勧告で「パワーハラスメント、セクシャルハラスメントの防止」が指摘されており、今後いっそう取り組む方向性になっていきますが、職場(50人以上の職場)単位で月に1回開催することになっている労働安全衛生委員会でも取り上げ、その職場状況にあったミニ学習会の開催等も可能ではないでしょうか。毎日過酷な職場での雰囲気パワーハラスメントの防止へ大きく影響します。労働安全衛生委員会から、「パワーハラを起こさせない雰囲気づくり」「誰かにすぐに相談しやすい雰囲気」を発信していけたらと思います。

労働安全衛生委員 長池敦子